

三菱製紙（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 —7年連続で最高ランクの格付を取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、三菱製紙株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：鈴木邦夫、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、明治31年創立の製紙メーカーで、塗工印刷用紙やインクジェット用紙などを主力製品としています。「世界市場、技術力、地球環境のアプローチから、社会に貢献することを目指します」の企業理念に基づき、付加価値の高い紙製品を市場に供給するとともに、原料調達や環境配慮製品の創出等による循環型社会の構築に努め、本業を通じた環境活動を高い水準で実践しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 木材について FSC 森林認証制度の活用や自社で定めた調達方針に基づき、責任ある調達を実施していることに加えて、取引先に対して CSR に関する取り組み状況をアンケートにより確認するとともに、新たに改善指導を実施している点
- (2) 自社グループの従業員に対して、FSC 森林認証制度をはじめとした環境教育を継続的に実施しているほか、社有林を活用した独自の環境学習プログラム「エコシステムアカデミー」において取引先・地域に対しても環境教育を展開している点
- (3) 「ハイグレード&情報メディアの三菱製紙」を掲げ、顧客ニーズおよび社会課題の変化を踏まえて EV 向けバッテリーセパレータなどの次世代の環境配慮技術について、大学等の他機関と連携しながら研究開発に注力している点

その結果、当社は7年連続で「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第1部 電話番号 03-3244-1680